

<ご参考資料>

2013年3月19日
タマホーム株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社

タマホームが HEMS 住宅を全棟標準仕様、日本 IBM がシステムを支援

さまざまな機器やサービスを連携させ、双方向型サービスを目指す

タマホーム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：玉木康裕、以下 タマホーム）は、家庭のエネルギー消費や暮らしの最適化を支援する「ホーム・エネルギー・マネジメント・システム（Home Energy Management System、以下「HEMS」）」を備えた次世代型住宅の販売を強化し、本年6月以降の新築・分譲住宅（一部を除く）について全棟標準仕様とし、また既築のお客様向けに HEMS 商品として販売を開始します。これを進めるため、日本アイ・ビー・エム株式会社（本社：東京都中央区、社長：マーティン・イエッター、NYSE:IBM、以下 日本 IBM）は、機器メーカーに依存することなくデータを一元管理することができる IBM の HEMS 情報基盤「サービス・デリバリー・プラットフォーム（SDP）」を活用し、エネルギーに関するデータ収集や管理、情報提供などを行う双方向型システムの構築と運用を支援します。タマホームでは、HEMS 搭載住宅の販売を今後3年間で新築3万棟、既築2万棟を見込んでいます。

住宅内の設備機器を HEMS とつないでエネルギーの需給情報を把握することにより、住宅全体のエネルギー最適化やエネルギー消費量を削減する取り組みが進んでいます。各家庭での普及がより一層見込まれる中、家庭でエネルギーを作る太陽光発電システム、さまざまな機器メーカーによる家電など、住宅内における多種多様なエネルギーに対応できる IT 環境を構築してエネルギー管理を行うとともに、IT インフラ基盤を活用した双方向型の情報サービスを実現することは、住宅の価値を高める重要な要素です。

タマホームは、複数の HEMS 関連機器の特長を活かした、より柔軟な HEMS 搭載住宅の展開を強化し、日本 IBM は HEMS の構築と運用を支援します。タマホームが提供する住宅は、電力消費量を30分、日、週、月、年単位で把握・比較したり、電気料金、CO2 排出量、原油換算といった指標で確認したりすることができます。また、太陽光発電の発電・稼働状況等も分かります。さらに、PC、タブレット、スマートフォンなどの様々な端末から利用できるため、遠隔地からなどでも柔軟に利用できます。タマホームでは、これら「電力の見える化」に続いて、今後は、住宅に関する性能、仕様、アフターサービスといった情報提供サービス、住宅関連以外のヘルスケア、育児、趣味といった生活に関する情報提供サービスなど、双方向型サービスを開始します。これにより、

住まいの提供に加えて、生活向上の提案を行い、各家庭のニーズに合わせて業界を超えたサービスが提供できるよう発展させていきます。HEMS 搭載住宅は、平成 25 年 6 月から販売開始予定です。

日本 IBM は、HEMS 機器メーカーに依存しない共通のプラットフォームを提供する情報基盤として「サービス・デリバリー・プラットフォーム (SDP)」を活用します。SDP は、異なるネットワークやシステム間でもダイナミックなサービス利用環境を実現できるオープンな IT 基盤ソリューションです。現在、HEMS 関連の設備や機器のインターフェースやデータ形式が統一されていないため、情報収集や分析が難しいという課題がありますが、SDP は多種多様な機器の基盤となるため、データ収集や一元管理を行うことができます。また、本基盤は、電力の見える化に続いて、住宅関連や生活全般の情報を提供する双方向型サービスの基盤としても利用される予定です。



以上

IBM、IBM ロゴ、ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp.の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

< 報道関係者お問合せ先 >

タマホーム株式会社 総務人事部 松橋

電話: 03-6408-1200 (代表)、E-mail: t-matsuhashi@tamahome.jp

日本アイ・ビー・エム株式会社 広報 下岡

電話:050-3150-5503、E-mail:masakos@jp.ibm.com